



新潟発！災害発生時「食の安心を！」はんぶん米

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



(社)全国腎臓病協議会 全国大会 in おかやま

各県の代表 1500 名が見守る中「東日本大震災支援活動」に対して感謝状が贈呈される

○ 災害対策は透析患者にとって生命線 ○

単一の病気では世界最大の患者団体である(社)全国腎臓病協議会の第41回全国大会に出席しました。厚生労働省辻泰弘副大臣、日本腎臓病学会杉山先生など各界の来賓が見守る中、大会はスタート。

主催者を代表して全協宮本高広会長の挨拶で開会し、地元岡山の歓迎の言葉、そして、昨年の東日本大震災の犠牲者に対して全員で黙祷を捧げました。

続いて、当社に対して全腎協より東日本大震災での支援活動への感謝状と記念品を贈呈して頂きました。本来ならば代表の阿部信行が出席するところですが、春の田植え作業等のために代理での表彰を拝受しました。

6年前にNPO法人東京腎臓病協議会と「災害支援協定」を締結以来、災害が発生した際に「はんぶん米」を始めとして、人工透析患者の食事支援の体制を整えて参りました。今後は更に全腎協、患者団体、行政組織等と連携し不測の事態発生時には速やかな支援活動を行なえるように連携を整えて災害時の「食の安全」の確保に努めたいと考えます。

全国大会は USTREAM によりリアルタイムで放映されました。全国大会の様子を編集した画像は6月1日より全国腎臓病協議会ホームページで公開予定です。 <http://www.zjk.or.jp/>



大会の前夜に開催された交流会。350名の関係者が出席。地元のNPO岡山腎臓病協議会が桃太郎の格好をして手厚いおもてなし。石井正弘知事も参加して岡山県をPR。



岡山腎協の会員が考えた「第2回バイエルン・レシピコンテスト」でグランプリを受賞した「米粉のロールケーキ・フルーツ添え」がありました。とても美味しい！！



会場の岡山市民会館は全国各地の参加者で満席。「阪神淡路・東日本ふたつの大震災を経験して」と題したシンポジウムが行なわれ宮城県代表者も体験談を話されました。



ランチョンセミナーでは、川崎医科大学付属病院の管理栄養士石川和子先生が監修した大会特製のお弁当の中身の講義を受けながら食べました。



【 問合せ：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユ) 】
 〒954 - 0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970 - 100
 TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
 e - mail eco-net@nekonet.ne.jp

